

ひまわり

2015
SEP



第三かめおか作業所『ほっこり会の様子』

もくじ

- 2 情勢 ～戦争は国、社会、人をひきさく～
- 3 地域協議会総会の報告
- 4 「ちょっと聞いてよ！」第3回
ハートフェスタ2015開催のお知らせ
- 5 ええもんみつけ！！
- 6 ホーム「ひまわり」オープン・時・ご寄付

社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

URL <http://www.kamecomyu.net/>

石田 将人

MASATO ISHIDA

かめおか作業所
所長

戦争は国、社会、人をひきさく

戦後70年。国会では日本の将来に関わる重要な審議が行われています。安全保障関連法案です。亀岡福祉会では障害のあるひとたちのあたりまえの生活に関わる重大な法案と位置づけ、メンバーと一緒に学習会や地域の取り組みに参加しています。今回は戦争と障害者について考えました。

安全保障法案と憲法9条

『積極的平和主義』の旗を高く掲げ、平和と繁栄にこれまで以上に貢献してまいります。これは、8月14日に安倍首相が発表した戦後70年談話の締めくくりの言葉です。

この言葉は、集団的自衛権の行使を意味しています。集団的自衛権とは、日本と同盟関係を結んでいる国が武力攻撃された際に、日本が攻撃されていなくても実力をもって阻止する権利のことをいいます。

さらに安倍首相は、同盟国が他国に先制攻撃した場合も集団的自衛権の行使の範囲内であることを明言しています。また、当初は「日本近海」としていた集団的自衛権の行使範囲も、「地理的にどこだからそれが当てはまるということではない」と思っている」と述べ、地理的制約を設ける必要はないとの認識を表明しています。

つまりこれは、アメリカが世界中で行う戦争に、日本は「積極的平和主義」の名のもとにその戦争に参加するということです。具体的な戦争への参加の方法は、後方支援が主であるので、憲法9条には違反しないと言っていますが、後方支援は兵站(へいたん)業務といわれ、軍事装備の調達、補給、整備、修理及び人員・装備の輸送などの軍事業務のことです。人を殺すための作戦の補助を行い、人を殺すための武器を補給することは、明らかに戦争への参加であり、憲法9条に違反しています。

戦争のリハーサルに使われた尊い「生命」

8月下旬のEテレ番組「ハートネット」で戦争と障害者シリーズ「20万人の大虐殺はなぜ起きたのか」が放送されました。

ナチスによるユダヤ人の大量虐殺は知られるところですが、なんとその「リハーサル」として、20万人以上の障害のあるドイツ人らが殺害されました。殺害には医師たちが自主的にかかわっていたといえます。

戦争をするための準備は、弱い立場の人たちを守るはずの社会保障費を削ることから着々と進められていったのです。障害者や遺伝性の病気の人も民族の血を汚し、金

ばかりかかる価値のない命とし、その考えを広めていきました。

医師たちが生きる価値があるかを判断しました。生きる価値がないとされた人は、殺害施設に運ばれました。殺害施設では、ガス栓を開けた医師の他、看護師や遺体を焼却する人など多い時には100人ほどが関わっていました。雇われる前に仕事の説明をうけていましたが、特に反対する人はいなかったといえます。

今自分にできることから

2010年にドイツの精神医学会は障害者の殺害に加担したことを正式に認め、謝罪をしています。この作戦に加担した当時の人たちは、この大量虐殺をとめることがなぜできなかったのでしょうか。殺害施設の近隣住民も、施設で行われている行為に気づきながら何も行動を起こせなかったのでしょうか。

戦争は国の判断を誤らせ、社会をおかし、人をひきさきます。わたしたちは、決してその道をつくってはなりません。生命が尊ばれる平和な未来のために、障害のある人たちが弱い立場にある全ての人たちが自分らしく生き生きと暮らせる社会保障の充実のために、日本が戦争をする国にならないように、今自分にできることから始めていきましょう。

自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会

2015.07.26

一周年記念フォーラム開催!

自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会は、設立一周年を迎えました。「おらがまち・むらのすごいところ大発見」と題し、亀岡で様々な活動をされている団体の皆さまにご登壇いただき、亀岡を知る、共有する取り組みをはじめ、先進地域への視察など、たくさんのご参加をいただきながら、活動してまいりました。記念フォーラムには、亀岡市内外からたくさんの方にお越しいただき無事盛大に終えることができました。

フォーラムの第一部は、「モノづくりからコトおこしへ」地域の自立を目指して」と題して、立命館大学の景井先生による講演会。立命館大学がおこなっておられるプロジェクト『京北プロジェクト』を通して地域の自立について講演いただきました。

また、第二部では、シンポジウム「亀岡の未来をつなぐとは」と題して、行政・市民団体・企業・福祉など様々な分野の方にお越しいただき「地域活性とは?」「地域の課題とは?」「どんな地域にしていきたいか?」などご発言いただきました。

記念講演やシンポジウムの議論で共通していた点は、『事業は地域密着と切り離せないこと』、『産業を通して、地域を豊かにする活動が大切であること』です。若者をはじめとする、多くの人に亀岡の魅力を発信し、取り組んでいくことが大

切であることを確認しました。

今、亀岡市では、シンボルプロジェクトが進められています。市民と行政とともに亀岡の未来をつくる、3つのプロジェクトが始まっています。私たちも様々な情報にアンテナをはり、積極的に参加していくことが求められています。景井先生からは「これまでは、地域にあるものを見直す活動だけだったが、これからは新しい付加価値を見つけ、創りかえる活動、そのためのノウハウが大切である」と発言があり、まさにこの地域協議会の活動も、地域力の一つのエッセンスになっていくことを実感しました。



参加された方の声

はや一周年、ですね。この間、亀岡の“あるもの探し”や遠方への視察研修などの精力的な調査研究活動、そして一周年記念フォーラム会場の落ち着いた“熱気”は、貴協議会の“本気”を示して余りあると感じています。時代の変化は激しいですが、それを追い手に帆をかけて、「誰もが住んでよかったといえるまち、亀岡」を創造する旗艦として是非にご活躍頂きますよう、祈念しつつ、応援しております。

立命館大学産業社会学部 教授 景井 充 氏

「おらが町・むらのすごいところ大発見」、の勉強会に参加してはや一年が過ぎました。亀岡にも本当に多くの皆さんが、おらが町でがんばっておられることがよく判り、また発表される皆さんの語り口からは、本当にまちを愛し、発展させていこうという気持ちがヒシヒシと伝わってきました。過疎化の歯止めが効かない農村地帯で互いが問題点を共有し、魅力溢れる街づくりに取り組んでいくためにも自慢話ができる場が必要だと思う。

保津町自治会 自治会長 塚田 勇 氏

「ちょっと聞いてよ！」

毎回好評！！

第3回 岡本登貴子さん (第二かめおか作業所)

今回は第二かめおか作業所の岡本登貴子さんにお話を聞きました。岡本さんは今年4月、リサイクルグループから自主製品作りやリサイクルの仕事を始めるグループに異動されました。さつそく5月から、ボーナス獲得をめざしてたくさん「夏のボーナス取り組み」が始まりました。岡本さんの持ち前の仕事熱心さと明るさでグループの仕事にも勢いがつきました。

岡本さんは4月からさわさわに変わりましたね。お仕事は楽しいですか？
岡本 うん。たのしい。

この夏はどんなお仕事をされましたか？
岡本 ペット(ペットボトルのラベルはがし)をしました。

いっぱいしましたね。あとは？
岡本 かいしゅう(リサイクル資源の地域回収)。

岡本さんは、これらの他にもよもぎ湯の素の袋詰めやこの広報誌「ひまわり」の仕事などをいっぱいされました。

8月のごくろうさん会は、ボーナスのお金を財布に入れて、丹波ワインハウスに行きましたね(と当日の料理写真を見せる)。



インタビュー後にペットボトルのラベルはがしをする岡本さん。

岡本 これ、行ったなあ。一緒に行ったなあ。
これ飲んだなあ(ワインを飲むしぐさ)。
これ食べたなあ(メインディッシュをナイフとフォークで食べるしぐさ)。
これ(デザート)も食べたなあ。
岡本さんは、ごくろうさん会のことととてもよく覚えておられて、写真があるだけでいっぱい「行った」「飲んだ」「食べた」と話してくださいました。
(それを聞いていた他の職員)今度は私も連れてって。
岡本 あはは。なんでーな？ あかんで(と自分で大笑いしてから)うん、いいよ!!
お金を持って、みんなと一緒に外出するのが大好きな岡本さんです。
また一緒に行きましょうか。
岡本 また行くこつな。一緒に行くこつな。
仕事は？
岡本 がんばるわ!!

10/4日

10:30~14:30
亀岡運動公園広場

- ♥ 模擬店・バザー
- ♥ ふれあい広場
- ♥ ステージ などなど

毎年多くのご来場をいただいているハートフェスタ。今年(株)たのしくはたらくが新たに加わり4団体での開催です。ステージでは各事業所のステージ発表あり！ゲスト出演もあり！と企画盛りだくさんです！ふれあい広場では小さなお子さんも楽しめる催しがいっぱい！今年のテーマは『新しい出会いと笑顔が待っている！』。みんなの躍動する笑顔をご覧ください！きっとそこには新しい出会いが待っています！ぜひご来場ください!!

主催：ハートフェスタ2015実行委員会
社会福祉法人亀岡福祉会 社会福祉法人信和福祉会
NPO法人自立支援センターかめおか 株式会社みんなではたらく
お問い合わせ先：
ハートフェスタ2015事務局(第三かめおか作業所内)
亀岡市保津町上火無28-86

拡大版! ええもんみつけ!

その1

素朴な色合いでどの季節にもピッタリ!

フラワーバッグ

(かめおか作業所)

チューリップのような花をモチーフにしたバッグです。表にポケットが付いていて、携帯などの小物を入れることができます。表の花と裏のリボンがかわいいアクセントになっていて、花は取り外しが可能なので、その日の気分によって変えることができます。色はベージュで「ナチュラル」等、色々取り揃えていますのでご相談ください。



価格: 1,800円

サイズ: W27 x H29 x D4cm

その2



価格: 1,800円

サイズ: W34 x H37 x D6cm

シンプルで使いやすい!

ラインバッグ

(かめおか作業所)

持ち手の根本にはレザーでアクセントを施し、オシャレと実用性を追求したバッグです。A4サイズのノートやファイルがゆったり入る大きさで見た目もスッキリ! 様々な物の持ち運びに便利なバッグです。

その1 & その2のお問い合わせ

かめおか作業所(亀岡市穂田野町佐伯大門30-1) TEL: 0771-24-2596 FAX: 0771-24-2597

その3

これからの季節にぴったり!!
お風呂でリラクゼーションはいかが!?

よもぎ湯の素

よもぎは『ハーブの女王』と呼ばれています。その香りと効能から古くから入浴などで利用されてきました。

よもぎ湯の素は粉碎した純国産よもぎをパック詰めにしてあります。

夏には「湯上がりがさっぱりする」、冬には「体のぬくもりが長続きする」と大好評!! 雑貨屋さんではリピーターの方やまとめ買いする方が増えています。

お風呂をリラクゼーションタイムにしてはいかがでしょうか。

作っているメンバーは...

「よもぎ湯のお風呂に入った。ええ匂いがして、ぬくもったわ。たくさんの人に知ってほしいし、買って欲しいです。」



価格: 630円

内容量: 20g x 10包

その3のお問い合わせ

第二かめおか作業所(亀岡市宮前町猪倉城山8-21) TEL: 0771-26-5434 FAX: 0771-26-2173

お知らせ

ホームひまわりオープン!

8月10日。亀岡福祉会7番目のグループホーム「ホームひまわり」が亀岡市安町にオープンしました。女性メンバー5名のホームです。新しい環境で不安なこともまだまだたくさんありますが、ひまわりのような元気で明るい毎日を過ごしていきたいと思えます。地域の皆さま末永くよろしくお願ひいたします。



開所初日は法人職員も招き、みんなでパーティをしました!



ホームの外観です。



入居者のみんなで表札看板を作りました!

2015
SEP

時

《支援員として》

特に困り事がないときは、やさしい口調で話される利用者さん。でも先日は、家の周りに虫が飛んでいるので何とかしてほしいとすごく不安な様子で連絡がありました。こちらはその専門でもないのに、何とも出来ない連絡をした所でした。でも、その事で不安定になり、電話をされてきました。まず、「では、自宅を見に行きますね」とそれで少しでも安心をもらうことができるかと思ひ、訪問をしました。訪問をし、話を伺いましたが、まだ不安が強いようでした。どうしたらいいのかわからなかったですが、家の周りを少しでも片付けることで安心をもらえるかと思ひ、片付けをしました。その片付けをすることでその方の安心もやっと思ひ、片付けができたようで、「本当にありがとうございました。」と優しい口調に戻られました。話を聞くだけで安心されることもあり、その方の思いにより寄り添い支援をすることが、利用者の生活を安心して、自分らしいものに繋がるものだと改めて気づかされた出来事でした。

(〇)

ご寄付 7月/8月

8/24	櫻井 邦夫 様	金一封
7/21	時有限会社エムテック 様	コーヒーティールセット
7/24	有限会社楠新聞舗 様	しょうゆセット
7/27	亀岡市民生委員児童委員協議会 様	ジュースセット
7/28	(株)能勢工務店 様	コーヒージュースセット
8/8	(株)ちよかわモーターサービス 様	コーヒールセット
8/19	(株)AXUA 様	お菓子詰め合わせ
7/21	原田自動車 様	コーヒールセット
8/6	多田設計事務所 様	お米

ご寄付ありがとうございました。

きょうされんにあなたの力を - 賛助会員募集 -

きょうされんの活動は、全国約31,000人の賛助会員に支えられています。障害のある人が安心して働き、暮らしていける地域社会を築いていくには、地域の中に理解してくれる人を広げていくことが大切です。そのためにも賛助会員は、私たちにとって大切な存在です。また賛助会費は、独自の資金で活動しているきょうされんを支える重要な役割を担っています。ぜひとも賛助会員になっていただき、私たちを応援してくださいませよう、心からお願い申し上げます。

個人1口:3,000円 団体1口:6,000

お問い合わせ先
社会福祉法人亀岡福祉会 第二かめおか作業所(担当:出田)
TEL:0771-26-5434